

令和7年度JA共済の運用益の使途について

令和7年1月

JA共済の運用益事業について（令和7年度）

令和7年度計画額

合計額：1,088,774千円（21,708千円増（2.0%））

<主な変更点>

（単位：千円）

新規

自動車事故防止対策

内容	金額	
自転車の交通安全教育の充実化に向けた啓発コンテンツの展開 ○改正道路交通法で施行される青切符制度の導入を踏まえた、自転車利用時の交通ルールの啓発に向けた動画等を作成・展開する。	30,000	—

（単位：千円）

拡充

自動車事故防止対策

内容	金額	前年度増減
シルバー世代向け自動車安全運転診断の実施 ○高齢運転者に向けた交通事故対策をより一層強化するため、リースの更新時期に合わせ機能改善を図る。	94,600	11,400 (13.7%)

（単位：千円）

減額

自動車事故防止対策

内容	金額	前年度増減
シルバー世代向け交通安全教室の実施	75,000	▲ 13,000 (▲14.8%)

自動車事故被害者対策

歩行者向け交通安全啓発活動の実施	50,000	▲ 10,000 (▲16.7%)
------------------	--------	----------------------

救急医療機器等購入費補助	335,000	▲ 10,000 (▲2.9%)
--------------	---------	---------------------

<予算の推移>

（単位：百万円）

令和5年度	令和6年度 (a)	令和7年度【案】 (b)	増減額 (b-a)	増減率(%)
1,153	1,067	1,088	21	2.0

自賠責共済運用益拠出事業（詳細）

1. 自動車事故防止対策

（単位：千円）

事業の内容(令和7年度(案))	【 】内は事業主体	令和5年度 計画額	令和5年度 実績額	令和6年度 計画額 (a)	令和7年度 計画額 (b)	計画額の 増減額 (b-a)	増減率 (%)
(1) 全国一斉交通安全運動の協賛 全国のJA等で交通安全運動期間中に同運動ポスターを掲示し、交通事故防止を図る。【内閣府他】		1,000	779	1,000	1,000	0	0.0%
(2) シートベルト・チャイルドシート着用推進運動の協賛 シートベルト・チャイルドシート着用促進の広報活動等により交通事故防止を図る。 【シートベルト・チャイルドシート着用推進協議会】		1,000	1,000	1,000	1,000	0	0.0%
(3) 自動車点検整備推進運動の協賛 自動車点検整備推進運動に協賛し、交通事故の防止を図る。【自動車点検整備推進協議会】		500	500	500	500	0	0.0%
(4) 交通安全スローガン・ポスター募集事業への協賛 交通安全スローガンおよび当該スローガンを使用したポスターの募集を行い、優秀作品を活用した啓発活動を実施し交通事故の防止を図る。【毎日新聞社・(一財)全日本交通安全協会】		2,750	2,750	2,750	2,750	0	0.0%
(5) 全日本交通安全協会の支援 交通安全に関する広報活動、交通安全表彰、交通安全教育の推進等を実施する(一財)全日本交通安全協会を支援し、交通事故の防止を図る。【(一財)全日本交通安全協会】		2,000	2,000	2,000	2,000	0	0.0%
(6) 反射材を活用した交通安全啓発活動の実施 夜間の交通事故防止に効果的な反射材の普及促進を図るため、反射材フェアに協賛する。【(一財)全日本交通安全協会 (後援予定：警察庁)】		6,500	6,500	6,500	6,500	0	0.0%
(7) 幼児向け交通安全教室の実施 全国各地で、幼稚園・保育園児とその保護者を対象とした交通安全教室を開催し、交通事故の未然防止を図る。【JA・JA共済連（後援予定：内閣府、警察庁、国土交通省他）】		116,500	64,071	—	—	—	—
(8) 生徒向け自転車交通安全教室の実施 全国各地で、中高生を対象とした交通事故の実演（スタントマン）により自転車事故の危険性を学ぶ交通安全教室を開催し、交通事故の未然防止を図る。【JA共済連・各都道府県警察本部】		212,000	211,915	239,750	249,200	9,450	3.9%
(9) シルバー世代向け交通安全教室の実施 高齢者を対象とした交通安全講話や敏捷性測定等の交通安全教室を開催し、交通事故の未然防止を図る。【JA・JA共済連】		88,000	57,356	88,000	75,000	▲ 13,000	▲14.8%
(10) シルバー世代向け自動車安全運転診断の実施 高齢者を対象とした交通事故未然防止に向けた自動車安全運転診断等により、交通安全意識の向上促進を図る。【JA・JA共済連】		87,500	81,093	83,200	94,600	11,400	13.7%
(11) 交通安全啓発活動の浸透・定着に向けた取組み 関係団体・行政（警察庁・PTA協議会等）に対し、JA共済が制作した交通事故防止対策コンテンツについて一元的にまとめた情報発信を定期的実施し、効果的な展開・活用促進を図る。【JA・JA共済連】		10,000	2,311	10,000	10,000	0	—
(12) 歩行者向け交通安全啓発活動の実施 薄暮時間帯・夜間の歩行中事故削減に向けた啓発活動を実施し、反射材の着用促進を図る。【JA・JA共済連】		30,000	15,776	60,000	50,000	▲ 10,000	▲16.7%
(13) 自転車の交通安全教育の充実化に向けた啓発コンテンツの展開 改正道路交通法で施行される青切符制度の導入を踏まえた、自転車利用時の交通ルールの啓発に向けた動画等を作成・展開する。【JA共済連他】		—	—	—	30,000	30,000	—
小 計		557,750	446,054	494,700	522,550	27,850	5.6%

2. 救急医療体制の整備

(単位：千円)

事業の内容(令和7年度(案))	【 】内は事業主体	令和5年度 計画額	令和5年度 実績額	令和6年度 計画額 (a)	令和7年度 計画額 (b)	計画額の 増減額 (b-a)	増減率 (%)
(1) 救急医療機器等購入費補助 地域の救急医療を担う厚生連病院等に対して救急医療機器等の購入費を補助し、救急医療体制の整備と被害者救済を図る。全国の厚生連病院100病院のうち、94病院が救急告示を、32病院がへき地医療拠点病院指定を受けている。(令和6年3月31日現在)【厚生連病院他】		350,000	348,140	345,000	335,000	▲ 10,000	▲2.9%
(2) 救急ヘリ普及推進活動の支援 救急医療用ヘリに関する啓発・広報活動を支援し、救急医療体制の整備と被害者救済を図る。 【認定NPO法人救急ヘリ病院ネットワーク】		5,500	5,500	5,500	5,500	0	0.0%
小 計		355,500	353,640	350,500	340,500	▲ 10,000	▲2.9%

3. 自動車事故被害者対策

(単位：千円)

事業の内容(令和7年度(案))	【 】内は事業主体	令和5年度 計画額	令和5年度 実績額	令和6年度 計画額 (a)	令和7年度 計画額 (b)	計画額の 増減額 (b-a)	増減率 (%)
(1) 自賠責制度周知活動の実施 自賠責共済・保険の未加入車両の解消を図る自賠責制度周知活動を通じて、被害者救済を図る。 【国土交通省他】		3,000	2,692	3,000	4,000	1,000	33.3%
(2) 交通事故無料法律相談事業の支援 自動車事故損害賠償に関する無料法律相談事業を支援し、被害者救済を図る。 【(公財)交通事故紛争処理センター】		60,198	60,198	47,335	61,326	13,991	29.6%
(3) 交通事故無料法律相談機関の支援 交通事故に関する無料法律相談機関を支援し、被害者救済を図る。 【(公財)日弁連交通事故相談センター】		25,000	25,000	20,000	10,000	▲ 10,000	▲50.0%
(4) 介助犬の普及支援 身体障害者の日常生活を補助する介助犬の普及活動を支援し、被害者救済を図る。 【(社福)日本介助犬協会・NPO法人日本補助犬情報センター・J A・J A共済連】		50,050	41,899	50,050	46,300	▲ 3,750	▲7.5%
(5) 交通事故医療研究の支援 交通事故医療に関する研究を公募のうえ選定した医療研究25件に助成し、医療の進歩に寄与することを通じて被害者救済を図る。【公募】		25,000	24,970	25,000	25,000	0	0.0%
(6) (公財)交通遺児等育成基金の支援 交通遺児の生活基盤安定を目的とする(公財)交通遺児等育成基金を支援し、被害者救済を図る。 【(公財)交通遺児等育成基金】		2,620	2,497	2,781	2,898	117	4.2%
(7) (公財)交通遺児育英会の支援 交通遺児の修学を援助する(公財)交通遺児育英会を支援し、被害者救済を図る。 【(公財)交通遺児育英会】		10,000	10,000	10,000	10,000	0	0.0%
(8) 交通事故被害者に対する情報提供支援 交通事故被害者およびその家族に対する情報提供を支援する。 【J A共済連】		—	—	—	2,000	2,000	—
小 計		175,868	167,257	158,166	161,524	3,358	2.1%

4. 後遺障害認定対策

(単位：千円)

事業の内容(令和7年度(案))	【 】内は事業主体	令和5年度 計画額	令和5年度 実績額	令和6年度 計画額 (a)	令和7年度 計画額 (b)	計画額の 増減額 (b-a)	増減率 (%)
(1) 適正な後遺障害認定に資する医療研究に対する支援の実施 交通事故医療に関する臨床的研究を対象に、研究課題を特定して公募のうえ選定した医療研究に助成し、交通事故被害者に対する適正な後遺障害認定に資する。【公募】		9,000	9,000	8,500	9,000	500	5.9%
小	計	9,000	9,000	8,500	9,000	500	5.9%

5. 医療費支払適正化対策

(単位：千円)

事業の内容(令和7年度(案))	【 】内は事業主体	令和5年度 計画額	令和5年度 実績額	令和6年度 計画額 (a)	令和7年度 計画額 (b)	計画額の 増減額 (b-a)	増減率 (%)
(1) 医療分野研修等の実施 医療分野研修を実施し、医療費支払の適正化を図る。 【(一社)JA共済総合研究所】		55,200	55,176	55,200	55,200	0	0.0%
小	計	55,200	55,176	55,200	55,200	0	0.0%

※1. 自動車事故防止対策、2. 救急医療体制の整備、3. 自動車事故被害者対策、4. 後遺障害認定対策 および5. 医療費支払適正化対策の合計金額

(単位：千円)

	令和5年度 計画額	令和5年度 実績額	令和6年度 計画額 (a)	令和7年度 計画額 (b)	計画額の 増減額 (b-a)	増減率 (%)	
合	計	1,153,318	1,031,128	1,067,066	1,088,774	21,708	2.0%

自賠償共済運用益拠出額の推移

(単位:千円)

年度	平成28年度			平成29年度			平成30年度			令和元年度			令和2年度		
	拠出額	増減額	増減率(%)	拠出額	増減額	増減率(%)	拠出額	増減額	増減率(%)	拠出額	増減額	増減率(%)	拠出額	増減額	増減率(%)
1. 自動車事故防止対策	675,700	▲ 122,000	▲ 19.3	675,700	0	0.0	629,700	▲ 46,000	▲ 6.8	629,700	0	0.0	631,046	1,346	0.2
2. 救急医療体制の整備	455,500	▲ 10,000	▲ 2.5	445,500	▲ 10,000	▲ 2.2	435,500	▲ 10,000	▲ 2.2	415,500	▲ 20,000	▲ 4.6	395,500	▲ 20,000	▲ 4.8
3. 自動車事故被害者対策	202,099	▲ 3,036	▲ 1.5	194,931	▲ 7,168	▲ 3.5	199,045	4,114	2.1	191,925	▲ 7,120	▲ 3.6	193,104	1,179	0.6
4. 後遺障害認定対策	—	▲ 25,000	▲ 833.3	6,000	6,000	—	9,000	3,000	50.0	9,000	0	0.0	3,000	▲ 6,000	▲ 66.7
5. 医療費支払適正化対策	54,200	▲ 5,800	▲ 10.5	54,200	0	0.0	54,200	0	0.0	54,200	0	0.0	55,200	1,000	1.8
合計	1,387,499	▲ 165,836	▲ 12.9	1,376,331	▲ 11,168	▲ 0.8	1,327,445	▲ 48,886	▲ 3.6	1,300,325	▲ 27,120	▲ 2.0	1,277,850	▲ 22,475	▲ 1.7

(単位:千円)

年度	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度(案)			令和7年度(案)		
	拠出額	増減額	増減率(%)												
1. 自動車事故防止対策	611,755	▲ 19,291	▲ 3.0	595,755	▲ 16,000	▲ 2.6	557,750	▲ 38,005	▲ 6.4	494,700	▲ 63,050	▲ 11.3	522,550	27,850	5.6
2. 救急医療体制の整備	395,500	0	0.0	375,500	▲ 20,000	▲ 5.1	355,500	▲ 20,000	▲ 5.3	350,500	▲ 5,000	▲ 1.4	340,500	▲ 10,000	▲ 2.9
3. 自動車事故被害者対策	182,737	▲ 10,367	▲ 5.3	190,631	7,894	4.3	175,868	▲ 14,763	▲ 7.7	158,166	▲ 17,702	▲ 10.1	161,524	3,358	2.1
4. 後遺障害認定対策	6,000	3,000	100.0	9,000	3,000	50.0	9,000	0	0.0	8,500	▲ 500	▲ 5.6	9,000	500	5.9
5. 医療費支払適正化対策	55,200	0	0.0	55,200	0	0.0	55,200	0	0.0	55,200	0	0.0	55,200	0	0.0
合計	1,251,192	▲ 26,658	▲ 2.0	1,226,086	▲ 25,106	▲ 2.0	1,153,318	▲ 72,768	▲ 5.9	1,067,066	▲ 86,252	▲ 7.5	1,088,774	21,708	2.0

(注) 拠出額は年度初期の予定額であり、実績額ではない。

令和5年度自賠責共済運用益拠出事業の内容

1. 自動車事故防止対策

事業の内容 【実績額】	実施概要	備 考
(1) 全国一斉交通安全運動の協賛 【779千円】	<ul style="list-style-type: none"> ★ 内閣府他の全国一斉交通安全運動に協賛し、交通事故の防止を図る。 ○ 内閣府が主催する春および秋の全国交通安全運動用ポスターを購入・配布（春11,070枚、秋11,525枚）し、各JAおよび関連団体に掲示を依頼して期間中の各地域における交通安全活動に活用した。 	○ 警察関係者へのヒアリングを実施
(2) シートベルト・チャイルドシート着用推進運動の協賛 【1,000千円】	<ul style="list-style-type: none"> ★ シートベルト・チャイルドシート着用推進協議会の着用推進運動に協賛し、交通事故の防止・軽減を図る。 ○ シートベルト・チャイルドシート着用推進協議会（内閣府、文部科学省、警察庁、国土交通省および自動車関連団体等で構成、（一財）日本交通安全教育普及協会が事務局）のシートベルト・チャイルドシート着用推進運動に協賛。 ○ シートベルト・チャイルドシート着用必要性等の啓発広報活動。 ○ 適切な選定・装着促進のためのチャイルドシート指導員養成研修会の開催支援。 	○ 活動状況についてヒアリングを実施
(3) 自動車点検整備推進運動の協賛 【500千円】	<ul style="list-style-type: none"> ★ 自動車点検整備推進協議会の自動車点検整備推進運動に協賛し、交通事故の防止を図る。 ○ 自動車点検整備推進運動に協賛し、9～10月の自動車点検整備推進の重点月間に点検整備の重要性の周知を図ることを目的としたポスターを掲示およびチラシ等を配布した。 	○ 活動状況についてヒアリングを実施
(4) 交通安全スローガン・ポスター募集事業への協賛 【2,750千円】	<ul style="list-style-type: none"> ★ 毎日新聞社・（一財）全日本交通安全協会の交通安全スローガン・ポスター募集事業に協賛し、交通事故の防止を図る。 ○ 交通安全スローガンおよびポスターの募集事業に協賛（大賞受賞スローガンはJA共済全国一斉交通安全運動の統一スローガンとして使用）した。 ○ スローガン応募数：35,059点 ○ ポスター応募数：2,335点 	<ul style="list-style-type: none"> ○ スローガン、ポスターの大賞作品を選定する審査会に出席 ○ 活動状況についてヒアリングを実施
(5) （一財）全日本交通安全協会の支援 【2,000千円】	<ul style="list-style-type: none"> ★ 交通安全事業を行う（一財）全日本交通安全協会を支援し、交通事故の防止を図る。 ○ 「幼児教育用教材の作成・普及」や「チャイルドシートの使用に関する広報啓発」、「新入学児童への黄色いワッペン」の配布、「高齢者に対する交通安全教育」、「自転車の交通ルール・マナーの周知」などを実施 ○ 春の全国交通安全運動、秋の全国交通安全運動を関係省庁・団体と共催。 ○ 交通安全教育の推進。 	○ 活動状況についてヒアリングを実施
(6) 反射材を活用した交通安全啓発活動の実施 【6,500千円】	<ul style="list-style-type: none"> ★ 反射材フェアに協賛し、夜間の交通事故防止に効果的な反射材の普及促進を図る。 ○ （一財）全日本交通安全協会 反射材活用推進委員会が主催し、警察庁が後援する「反射材フェア」に協賛し、夜間の交通事故防止に効果的な反射材資材の普及促進を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 活動状況についてヒアリングを実施 ○ 反射材フェアの現地視察を実施
(7) 幼児向け交通安全教室の実施 【64,071千円】	<ul style="list-style-type: none"> ★ 幼児対象の交通安全教室を実施し、交通事故の防止を図る。 ○ 幼児向け交通安全教室（ミュージカル）は、コロナ禍でも幼稚園・保育園単位で実施可能な小規模プログラムを展開したが開催回数が計画を下回った。（23回） 	○ 警察関係者へのヒアリングを実施
(8) 生徒向け自転車交通安全教室の実施 【211,915千円】	<ul style="list-style-type: none"> ★ 交通事故未然防止に必要な知識や技能の習得の促進を図る。 ○ 危険な自転車走行に伴う交通事故の実演（スタントマン）により、生徒に危険性を疑似体験させるスケアード・ストレイト教育技法による自転車交通安全教室を警察等と連携して開催した。（170回開催、67,410名参加） 	○ 警察関係者へのヒアリングを実施
(9) シルバー世代向け交通安全教室の実施 【57,356千円】	<ul style="list-style-type: none"> ★ 高齢者対象の交通安全教室を実施し、交通事故の防止を図る。 ○ 全国各地で、高齢者向けプログラム（交通安全講話、身体機能の衰えに関するDVD鑑賞や敏捷性測定等）による高齢者対象の交通安全教室を開催した。（49回開催、1,285名参加） 	○ 警察関係者へのヒアリングを実施

(10) シルバー世代向け自動車安全運転診断の実施 【81,093千円】	<p>★ 高齢者を対象に自動車安全運転診断等を実施し、交通安全意識の向上促進を図る。</p> <p>○ 全国各地でドライビングシミュレーター搭載車両「きずな号」を全国に巡回・派遣させ、高齢ドライバーを対象に安全運転診断を開催した。(65回開催、1,780名参加)</p>	○ 警察関係者へのヒアリングを実施
(11) 交通安全啓発活動の浸透・定着に向けた取り組み 【2,311千円】	<p>★ 交通事故防止対策コンテンツにかかる情報発信を定期的実施し、効果的な展開・活用促進を図る。</p> <p>○ 関係団体・行政(警察庁・PTA協議会等)に対し、JA共済が制作した交通事故防止対策コンテンツを紹介するチラシを提供した。</p>	○ 警察関係者へのヒアリングを実施
(12) 歩行者向け交通安全啓発活動の実施 【15,776千円】	<p>★ 薄暮時間帯・夜間の歩行中事故削減に向けた啓発活動を実施し、反射材の着用促進を図る。</p> <p>○ 薄暮時間帯・夜間の歩行中事故削減に向けた啓発に向けたコンテンツを全国展開し、各地で開催した。(12回)</p>	○ 警察関係者へのヒアリングを実施

2. 救急医療体制の整備

事業の内容 【実績額】	実施概要	備 考
(1) 救急医療機器等購入費補助 【348,140千円】	<p>★ 地域の救急医療を担う病院に対して救急医療機器等購入費を補助し、救急医療体制の整備と被害者救済を図る。</p> <p>○ 39病院に対する救急医療機器購入費補助 旭川厚生病院、帯広厚生病院、札幌厚生病院、網走厚生病院、倶知安厚生病院、かつの厚生病院 能代厚生医療センター、秋田厚生医療センター、由利組合総合病院、大曲厚生医療センター 平鹿総合病院、白河厚生総合病院、埴厚生病院、土浦協同病院、上都賀総合病院、佐野厚生総合病院 伊勢原協同病院、長野松代総合病院、南長野医療センター新町病院 富士見高原医療福祉センター富士見高原病院、糸魚川総合病院、柏崎総合医療センター、厚生連高岡病院 東農中部医療センター東農厚生病院、岐阜・西濃医療センター岐阜北厚生病院 JA静岡厚生連リハビリテーション中伊豆温泉病院、江南厚生病院、三重北医療センター菰野厚生病院 三重北医療センターいなべ総合病院、広島総合病院、尾道総合病院、吉田総合病院、周東総合病院 吉野川医療センター、屋島総合病院、滝宮総合病院、JA高知病院、大分県厚生連鶴見病院 鹿児島厚生連病院</p> <p>主な機器は、超音波診断装置・内視鏡などであり、検査時間の短縮、診断精度の向上等、有効に活用されていることを事務局で確認している。</p> <p>○ 2病院に対するリハビリ機器購入費補助 小郡第一総合病院、福岡整形外科病院</p>	○ 購入機器の写真等を添付した報告書を受領
(2) 救急ヘリ普及推進活動の支援 【5,500千円】	<p>★ 認定NPO法人救急ヘリ病院ネットワークの救急医療用ヘリに関する啓発・広報活動費用を支援し、救急医療体制の整備と被害者救済を図る。</p> <p>○ 交通事故被害者の被害軽減・救命率向上に寄与する救急ヘリ普及推進活動を行うNPO法人 救急ヘリ病院ネットワークに対し寄付を行った。</p>	○ 活動状況についてヒアリングを実施

3. 自動車事故被害者対策

事業の内容 【実績額】	実施概要	備 考
(1) 自賠責制度周知活動の実施 【2,692千円】	<ul style="list-style-type: none"> ★ 自賠責共済・自賠責保険の未加入車両の解消を図る自賠責制度周知活動を実施し、被害者救済に役立てる。 ○ 全国のJA等で秋の全国一斉交通安全運動期間を中心に、国土交通省作成のリーフレット（約142万部）・ポスター（約9万枚）を配布・掲示。 	○ 活動状況についてヒアリングを実施
(2) 交通事故無料法律相談事業の支援 【60,198千円】	<ul style="list-style-type: none"> ★ (公財)交通事故紛争処理センターの自動車事故損害賠償に関する無料法律相談事業を支援し、紛争解決を図る。 ○ JA共済加入車両の相談等は321件(前年度:308件)であり、前年度より取扱件数は増加した。 	○ 活動状況についてヒアリングを実施
(3) 交通事故無料法律相談機関の支援 【25,000千円】	<ul style="list-style-type: none"> ★ 交通事故法律相談を行う(公財)日弁連交通事故相談センターを支援し、紛争解決を図る。 ○ 令和5年度のJA共済に加入している車両の交通事故に関する示談斡旋は、申込受理件数92件(前年度84件)、斡旋延回数155回(同165回)であり、審査は、申込受理件数4件(前年度4件)、審査回数12回(同7回)であった。 	○ 活動状況についてヒアリングを実施
(4) 介助犬の普及支援 【41,899千円】	<ul style="list-style-type: none"> ★ 身体障害者の日常生活を補助する介助犬の普及を支援し、被害者救済に役立てる。 ○ 特定NPO法人日本補助犬情報センター(旧、介助犬アカデミー)の活動状況 身体障害者補助犬育成補助事業など介助犬・補助犬に関する調査研究・講演等、介助犬・補助犬に関する啓発活動 ○ (社福)日本介助犬協会の活動状況 介助犬の育成・提供、介助犬の認知度向上のための講演会・イベント開催、介助犬利用者・希望者の相談 ○ 介助犬の認知度向上を図るための、デモンストレーション・ポスター等による広報活動。(後援:厚生労働省) 	○ 活動状況についてヒアリングを実施
(5) 交通事故医療研究の支援 【24,970千円】	<ul style="list-style-type: none"> ★ 交通事故医療の研究にかかる研究費の一部助成。 ○ 脳幹損傷が脳の機能に与える影響を神経画像的に検討する 上田 敬太(京都光華女子大学 健康科学部 医療福祉学科 言語聴覚専攻) ○ 長期間の免荷によるバランス感覚の低下予防を目的とした足底感覚トレーニング機器の開発 濱田 知(厚生連 高岡病院 整形外科) ○ 自転車による交通外傷において飲酒が重症度と与える影響に関する多施設共同前向き研究 船越 拓(東京ベイ・浦安市川医療センター 救急集中治療科) ○ 新規プロテオーム解析による脳肺連関の解明と新規治療ターゲットの探索 舘野 丈太郎(大阪大学医学部附属病院 高度救命救急センター) ○ 交通事故被害者の呼吸器合併症への呼吸筋力低下や体幹角度、低栄養の与える影響の探索 岡崎 達馬(東北大学病院 肢体不自由リハビリテーション科) ○ 損傷神経の術中ライブイメージング方法の開発 竹内 博紀(北海道大学大学院 医学研究院 整形外科学教室) ○ 胸部外傷後の横隔膜機能を考慮した疼痛管理ー求心性抑制反射の賦活に関する比較検討ー 藤村 直幸(雪の聖母会 聖マリア病院 麻酔科) ○ 胸郭変形に対する3D-CT肺容積評価による観血的治療適応の検討 上田 太一朗(日本医科大学千葉北総病院 救命救急センター) ○ 血管造影可能な簡易骨盤固定具に関する安全性と有用性についての検討 古郡 慎太郎(横浜市立大学附属市民総合医療センター 高度救命救急センター) ○ 慢性期脊髄損傷患者に対する身体活動量と自律神経活動評価を加えた残存運動機能評価手法の検証 澤田 智紀(慶應義塾大学 医学部 整形外科学教室) ○ 遺伝子診断による高エネルギー外傷開放骨折術後感染の原因菌の早期診断と予防 松本 匡洋(横浜市立大学附属市民総合医療センター 高度救命救急センター) ○ 大動脈内バルーン遮断(REBOA)における虚血再灌流障害に対する迷走神経刺激(VNS)の効果検証 大井 真里奈(北里大学 医学部 救命救急医学) ○ 重症頭部外傷後における脳萎縮と水頭症の鑑別のための統計・機械学習による画像判別方法の確立 梶本 宜永(大阪医科薬科大学 医学教育センター) ○ リアルワールドデータを用いた脊髄損傷後細菌感染症リスク因子の解析 大迫 浩平(独立行政法人労働者健康安全機構 総合せき損センター 整形外科) ○ 重症外傷患者における早期電気刺激療法の効果と栄養代謝動向の解明 寺島 嗣明(愛知医科大学病院 救命救急科) ○ 交通外傷後の頸部痛・腰痛の疼痛定量的評価につなげる歩行解析法の開発 山本 皓子(東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 整形外科学分野) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ JA共済医療研究助成審査委員会を開催し、助成対象25テーマを選定 ○ 各研究の成果については、報告書の提出を求めるとともに、学会等にも積極的に発表するよう依頼している

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 血清を用いた髄液漏出の診断法開発 橋本 康弘（福島県立医科大学 医学部 法医学講座） ○ 重症鈍的外傷における来院後のフィブリノゲン減少値は大量輸血予測因子となりえるか 森本 紳一（福岡大学病院 救命救急センター） ○ 外傷性肩関節障害および術後C5麻痺における肩関節動作支援ロボットHybrid Assistive Limb (HAL)の有効性に関する研究 久保田 茂希（筑波大学 医学医療系 整形外科 運動器再生医療学） ○ 骨形成特異的iPS細胞由来血小板製剤の開発 向井 務晃（千葉大学医学研究院 先端研究部門 イノベーション再生医学） ○ Motion captureとDriving simulatorによる乗車運転能力解析に関する研究 濱井 敏（九州大学大学院医学研究院 医工連携・健康長寿学講座） ○ 脊髄損傷後のMRI画像による経時的脳機能結合性変化の追跡 藤賀 晃（慶應義塾大学大学院 医学研究科） ○ 自動車運転時の視覚情報処理・認知判断能力を評価する運転シミュレータの開発 生田 純一（農協共済中伊豆リハビリテーションセンター リハビリテーション部） ○ 有限要素解析を用いた大腿骨骨折に対する早期荷重と骨癒合促進を可能とする固定方法の開発 萩原 茂生（千葉大学医学部附属病院 整形外科） ○ ヒストン/NETsが担う病的自然免疫反応による外傷性凝固障害病態解明研究 和田 剛志（北海道大学大学院 医学研究院 侵襲制御医学講座 救急医学教室） 	
(6) (公財)交通遺児等育成基金の支援 【2,497千円】	<ul style="list-style-type: none"> ★ 交通遺児の生活基盤安定を目的とする(公財)交通遺児育成基金を支援し、被害者救済に役立てる。 ○ 令和5年度の交通遺児の加入遺児総数は366名 ○ 自治体等の相談窓口等を通じた基金制度の紹介等。 	○ 拠出団体（国やJ A 共済連等）の拠出分担割合にもとづく
(7) (公財)交通遺児育英会の支援 【10,000千円】	<ul style="list-style-type: none"> ★ 交通遺児の教育機会均等を目的とする奨学金事業等の支援を目的とする(公財)交通遺児育英会を支援し、被害者救済に役立てる。 ○ 令和5年度の在学奨学生数は855名 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 活動状況についてヒアリングを実施 ○ 高校奨学生と保護者のつどいの現地視察を実施

4. 後遺障害認定対策

事業の内容 【実績額】	実施概要	備考
(1) 適正な後遺障害認定に資する医療研究に対する支援 【9,000千円】	<ul style="list-style-type: none"> ★ 交通事故被害者に対する適正な後遺障害認定に資する医療研究に対する研究費用の一部を助成する。 ○ 令和5年度の課題は、「交通事故による脊椎外傷の診断・治療に関する研究」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ J A 共済医療研究助成審査委員会を開催し、助成対象を選定 ○ 各研究の成果については、報告書の提出を求めるとともに、学会等にも積極的に発表するよう依頼している

5. 医療費支払適正化対策

事業の内容 【実績額】	実施概要	備考
(1) 医療分野研修等の実施 【55,176千円】	<ul style="list-style-type: none"> ★ 医療分野研修を実施し、医療費支払の適正化を図る。 ○ 医療研究研修部で、医療費査定業務に従事する者を対象とした医療研修会（脊椎・脊髄外傷コース、四肢外傷コース、頭部外傷コース）の研修会を対面で実施。研修会受講者は合計76名 	○ 活動状況についてヒアリングを実施